

広島市立中央図書館等再整備基本計画 (別冊)

令和4年 月

広島市

【 目 次 】

広島市立中央図書館等の再整備にかかる市民等からの意見	1
1 広島市立図書館協議会委員及び広島市社会教育委員からの主な意見	1
2 市民アンケート結果	3
3 市民意見募集	5
4 ライブラリー・サポーターズからの意見	9
(参考) エールエールA館への移転と現在地での建替の比較検討表	10

広島市立中央図書館等の再整備にかかる市民等からの意見

1 広島市立図書館協議会委員及び広島市社会教育委員からの主な意見

(1) 広島市立図書館協議会委員※からの主な意見

※ 有識者で組織された広島市の図書館の運営に関して意見を述べる機関

- ・ 全国の図書館を見ると、お城の近くに建設されていたり、ロケーションの良いところに建設されていたりするので、広島市の図書館もそうした場所にあってほしい。
- ・ これまで行ってきたイベントをさらに充実させるためにも、会議室、研修室、ホール等を余裕をもって設けてもらいたい。
- ・ こども図書館単独の部屋があった方が利便性が高い。
- ・ 駅前であれば、これまで図書館から遠のいていた人たちの利用も期待できる。
- ・ 移転によって便利になる人もそうでない人もいると思うが、ある意味では新しい図書館像やサービスを作る上でのチャンスと考えられる。
- ・ 3つの施設を集約することによる機能面でのメリットを示していった方が良い。
- ・ 図書館を利用するには不便な地域に住んでいる方への取組を行ってほしい。
- ・ 入館者数を増やすためのサービスと貸出数を増やすためのサービスは、用意すべきものもかかるコストも異なるため、どちらによりコストを割くか検討するべき。
- ・ 移転によって解決することとそうでないことを整理するべきで、広域都市圏在住の方をターゲットとした取組はまさに移転することでできるようになる取組ではないか。
- ・ ぜひ20代前半の若者の意見を直接聞く機会を作ってほしい。彼らは残念ながら公立図書館に魅力を感じていないが、その理由は大人が考えても、現在図書館を利用している人が考えてもわからないことだと思う。
- ・ 学校図書館と中央図書館がもっとつながる仕組みを考え、若い世代が学校教育を終えたあともずっと図書館とつながるような取組ができないか。
- ・ 学びの場としての図書館というだけでなく、憩える場所という言葉が出てきたのは非常に良いことだと感じた。
- ・ 「図書館は静か」というこれまでの概念をこわし、わいわいがやがやとした場所も図書館の中にあればいいのではないか。そうした場所も学びにつながると思う。
- ・ エールエールA館に移転することで利便性は向上するので、機能を継続して提供できるのであれば問題ない。
- ・ 利便性が高くなることで、本に興味を持っていない人が行く可能性が高くなり、結果として本に興味を持つようになるかもしれない。
- ・ エールエールA館移転に反対である。その利用形態や構造から、火災に弱く、貴重な蔵書や文化財が消失する危険がある。
- ・ 今の場所は、科学と文化と一緒に学べ、さらに、外の公園で自然にも触れあえる、非常に素晴らしい場所である。
- ・ 中央図書館とこども図書館は一緒のほうがいいと思う。

(2) 広島市社会教育委員※からの主な意見

※ 社会教育関係者、学識経験者、市民委員などで構成され、会議で社会教育についての意見を述べる等の職務を行う。

- ・ こども図書館については、戦後復興の中で子どもたちの健やかな成長をサポートしてきた施設のあり方そのものが、今回の移転により断絶されることがないようにしてほしい。
- ・ 心象風景という視点で何らかの形で歴史を継承することは重要だと考える。
- ・ 他の図書館からの取り寄せで本は借りることができるが、そこに行くだけの価値がある図書館を作るのであれば、静かに本を読める環境、本を読む姿勢が身につくような図書館を作してほしい。
- ・ エールエールに入るといことは大人にとっては利便性が高くよいと思うが、こども図書館については、子どもや乳幼児を連れたりベビーカーを押している保護者など多様な人が訪れる。子どもの心の育みとよりよい環境、安全安心な環境を作してほしい。
- ・ おしゃれな図書館であっても蔵書の質が落ちないように、従来の図書館のよさを担保してほしい。
- ・ 今回の移転の案は、世代間の交流等を図るという意味では非常にいい案だと思う。
- ・ エールエールに買い物に行った際にも寄れるよう開館日、開館時間を考えてほしい。
- ・ 公共交通や公共施設の中で小さい子どもがいる保護者は非常に気を遣っているため、泣いたり騒いだりおしゃべりしてもいいような安心して読書、交流ができる場にしてほしい。
- ・ ベビーカーや妊娠している人や歩くのが困難な方などは公共交通を利用しにくいいため、減免で使えるような駐車場を設けてほしい。
- ・ Wi-Fi の設備を整えてほしい。
- ・ 広域都市圏を越えた市町の人も幅広く色々な方が、広島を核として本の貸し借りができるようになると全国モデルとなるのではないかな。
- ・ 平和関係の資料について市外・県外の学校等からも資料を借りられるようにしてほしい。
- ・ 働いている世代も利用しやすいようWEB環境の整備をしてほしい。
- ・ 紙媒体の書籍利用は減っており、電子図書やオーディオブックなどの電子媒体も踏まえながら今後の整備計画を作ることが大切だと思う。
- ・ 施設は作った日から劣化していくため、維持管理できる体制を作ること。一生懸命働く専門人材を活かすしくみとお金を合わせて図書館のソフトな部分を十分検討することが必要である。
- ・ 区図書館と違う「中央」図書館である意味を考えなくてはいけないと思う。また、図書館で人材育成が行われていくためにも、集いながら学ぶというしくみや運営していくときにおいて、市民をどう巻き込んでいくか一緒になって運営していくかなど、初期の段階でしっかりデザインしていくことが大事な視点である。
- ・ 図書館に本という情報があるだけでなく、新たにどのような機能を付加させると、学びと社会課題の解決が連動していくかを考慮したような機能を入れ込むととても活用しやすいと思う。

2 市民アンケート結果

(1) 中央図書館

ア 調査の概要

- グラフ上段

調査対象：市民3,000人（18歳以上の市民から無作為抽出）

調査方法：郵送及びWEB回答

実施期間：令和3年6月17日～6月30日

回答数：1,027

回答率：34.2%（うち郵送77.1% WEB22.9%）

- グラフ下段

調査対象：中央図書館来館者

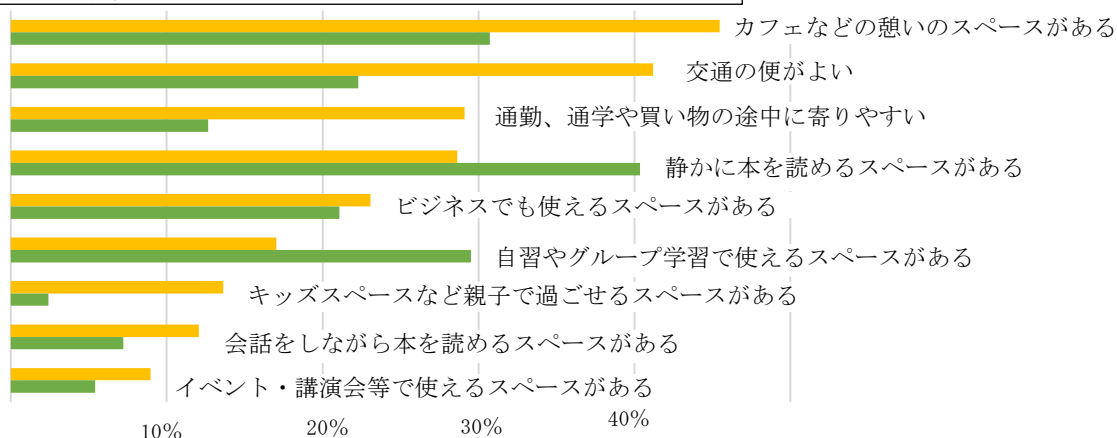
調査方法：館内への用紙の設置、職員による手渡しによる依頼

実施期間：令和3年7月20日～令和3年7月30日

回答数：166

イ 回答結果

中央図書館がどのような施設であればもっと利用したいか。



【中央図書館ハード面のニーズ】

- ◎単に「本を読む場所」としてだけではなく、親子や友人との憩いの場となるようなスペース
- ◎交通の便が良く、通勤や買い物等の途中で寄りやすい立地
- ◎ビジネスや自習など多様な利用ができるスペース など

中央図書館にどのようなサービスがあればもっと利用したいか。



【中央図書館ソフト面のニーズ】

- ◎一般書及び映像資料、児童書などの充実
- ◎貸出・返却方法、開館時間など利用環境の向上
- ◎文化芸術や広島に関する情報の充実 など

(2) こども図書館

ア 調査の概要

調査対象：こども図書館来館者

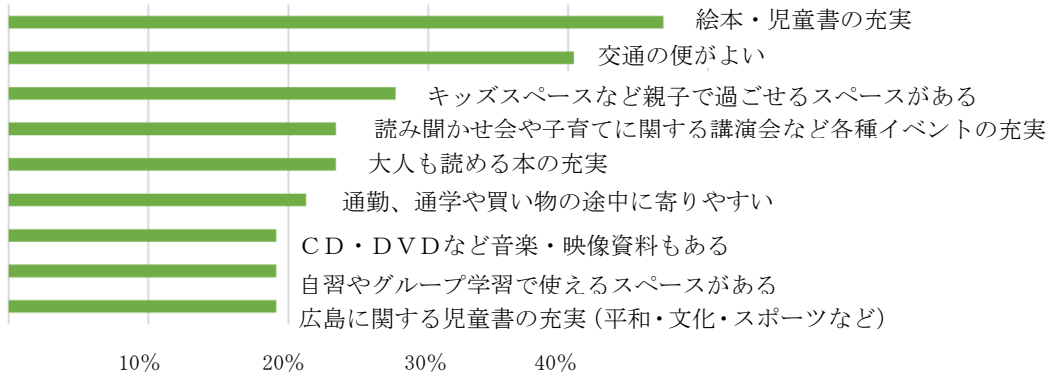
調査方法：館内への用紙の設置、職員による手渡しによる依頼

実施期間：令和3年7月20日～令和3年7月30日

回答数：47

イ 回答結果

こども図書館がどのような施設であればもっと利用したいか。



【こども図書館のニーズ】

- ◎絵本・児童書の充実に加え、大人も読める本や、音楽・映像資料もほしい
- ◎交通の便が良く、通勤や買い物等の途中で寄りやすい立地
- ◎キッズスペースや学習スペースの充実 など

(3) 映像文化ライブラリー

ア 調査の概要

調査対象：映像文化ライブラリー来館者

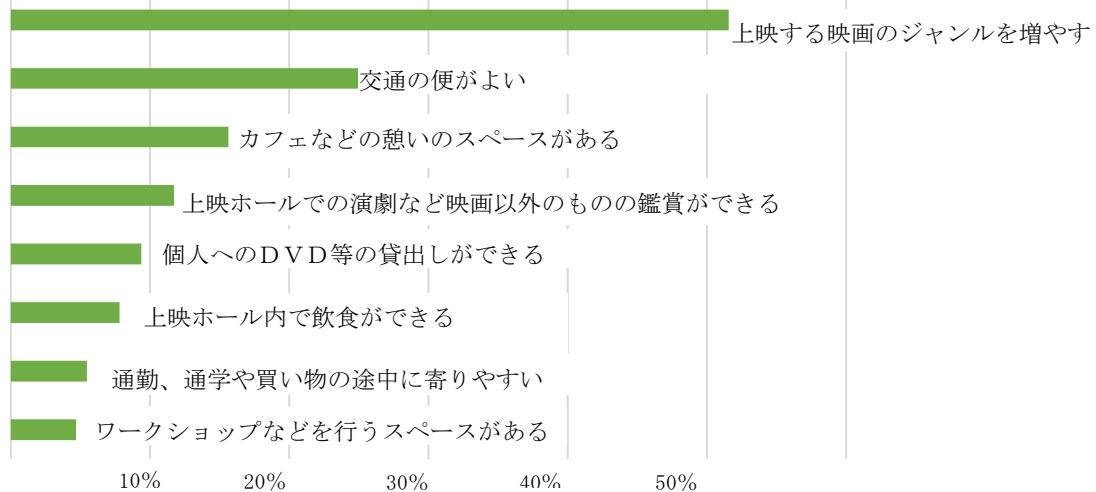
調査方法：館内への用紙の設置、職員による手渡しによる依頼

実施期間：令和3年7月17日～令和3年7月30日

回答数：128

イ 回答結果

映像文化ライブラリーがどのような施設であればもっと利用したいか。



【映像文化ライブラリーのニーズ】

- ◎上映する映画のジャンルを増やす
- ◎交通の便が良く、通勤や買い物等の途中で寄りやすい立地
- ◎上映ホール内での飲食や、カフェスペース など

3 市民意見募集

(1) 目的

広島市立中央図書館等の再整備について、基本的な事項を取りまとめたことから、市民の意見を把握するため。

(2) 実施概要

ア 期間 令和3年12月20日から令和4年1月14日まで

イ 方法 本市ホームページの応募フォーム、電子メール、郵送、ファックス、又は窓口（市民局生涯学習課）への持参

(3) 意見概要

ア 応募数等

応募数	215件
意見総数	344件
計画全体に関すること	153件
移転に関すること	117件
機能に関すること	36件
中央図書館に関すること	23件
移転に関すること	12件
機能に関すること	11件
こども図書館に関すること	74件
移転に関すること	70件
機能に関すること	4件
映像文化ライブラリーに関すること	6件
移転に関すること	0件
機能に関すること	6件
郷土資料館に関すること	5件
事業の進め方に関すること	59件
その他（他施設のこと等）	24件

イ その意見と本市の考え方

区分	意見の概要	本市の考え方
計画全体に関すること	<ul style="list-style-type: none"> エールエールA館への移転はJR広島駅周辺・商業環境の変化等にも、好影響を与えると考えられる。 立地も良いので、比治山のまんが図書館も一緒に移転し、漫画やアニメとも連動した文化の拠点を目指したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 18ページ※の基本方針3にあるとおり、様々な連携を行うことにより、周辺環境にも好影響となるような施設にしていきたいと考えています。 ※ 「本市の考え方」で示すページについては広島市立中央図書館等再整備基本計画のものを指します。）
	<ul style="list-style-type: none"> 「平和文化の情報拠点」というならば、平和公園の近くにあるべきだ。 広島駅周辺地区以外の候補地は検討していないのか。 広島駅を利用する人が現在地より多いとは思えない。広島駅を利用するのは広島市民以外が多いのではないのか。 商業施設のなかの移転には反対である。 中央公園は、文化・芸術・スポーツ・緑地の場所であり、現在地が望ましい。 エールエールA館もすでに古い。またすぐ使えなくなるのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 18ページの基本方針2にあるとおり、来広者がアクセスしやすい広島駅周辺地区において、市民はもとより、広島を訪れる多様な人々が、平和への思いを共有できる場とすることを目指しています。 エールエールA館を移転先とした理由については、13ページの「3-3再整備する立地」のとおりですが、広島駅周辺地区以外については、まず配置の条件に最も適していると考えられる広島駅周辺地区で検討し、そこで適した移転先が見当たらない場合に、他の地区で候補地を検討することとしていました。

区分	意見の概要	本市の考え方
計画全体に関する こと	移転に関する こと	(前ページの続き) <ul style="list-style-type: none"> エールエールA館は平成11年(1999年)4月にオープンし、築22年(令和4年1月現在)になります。 エールエールA館の法定耐用年数は39年(H10~R19)となっていますが、令和元年7月に第三者の専門機関に委託して調査を行ったところ、令和49年度(2067年度)までは、建物として必要な物理的耐用年数を有しているとの評価を得ています。
	機能に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> 読書会や研修会などに使える会議室の確保。 多様な種類のスペースの設置。(飲食可・雑談可やスクール形式の部屋、畳に親子が並んで座れるなど。) エールエールA館と開館時間や休館日は合わせるべきである。 無料の駐輪場、駐車場がほしい。 バリアフリー化を進めてほしい。 レファレンス機能の確保。 ボランティア活動ができる。 適正な技量を有する人材の確保及び職員の待遇の確保。
		<ul style="list-style-type: none"> 商業施設内では火災などのリスクが高く、貴重な本の安全性が保てないのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> 図書館は市民の知識の向上を目的とする社会教育施設であり、市外の人々へのサービスを求める施設ではない。 平和文化の情報を目指すのは、図書館が担うことなのか。
		<ul style="list-style-type: none"> 現状と同程度の面積では、蔵書等の増加や示されているような新機能に本当に対応できるのか疑問だ。
中央図書館に関する こと	移転に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> 現在地での建替えはなぜできないのか。 中央公園内への移転はできないのか。 旧市民球場跡地や、商工会議所ビルに建替えれば良いのではないか。 商業施設に図書館はそぐわない。静かな環境であるべきだ。 政令市の図書館は単館で世界に誇れる美しい建設物であるべきだ。
		<ul style="list-style-type: none"> 広島駅付近には東区図書館もあり、近すぎるのではないか。

区分	意見の概要	本市の考え方
中央図書館に関する事	<p>機能に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館は利便性を追求し、集客を求めるものではない。 市内図書館のバックアップ機能など、中央図書館として本来機能をしっかりやってほしい。 カフェがあると良い。 飲み物を飲みながら本が読むと本が汚れるので反対だ。 BGMを流してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> コアワーキング（勉強や仕事）のスペースをつくってほしい。 閲覧室を確保してほしい。 引き続き自習利用できるよう配慮してほしい。 広域からの来館が見込まれるため、貸出カードの登録範囲を広げるべきだ。 現在地付近に予約本の受取や返却、ビジネス支援機能など一部機能は残してほしい。 Wi-Fi環境を整備してほしい。 デジタル化への対応をもっと示すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 17ページの第4章でお示ししたとおり、中央図書館本来の機能を更に充実させることで、利用者により満足していただける図書館を目指すとともに、これまであまり図書館に来る機会がなかった新たな利用者層を呼び込むことも重要と考えています。こうした観点から、誰もが豊かな環境で読書に親しんでいただけるよう、図書館の具体的な機能については、今後再整備を進める中で、ご意見を参考にさせていただきながら検討していきたいと考えています。
こども図書館に関する事	<p>移転に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的経緯を考えると現在地が良い。 平和教育をするうえで現在地が最適である。 自然豊かな環境がある現在地が立地としてふさわしい。 ファミリープールが近くにあり、こども文化科学館と併設されている現在の環境が立地としてふさわしい。 図書館見学など、教育機関との連携が難しいのではないか。 こども図書館は単館であるべき。中央図書館等と一緒にすることで、これまでこども図書館が培ってきたこども専門の独立図書館としての役割が損なわれるのではないか。 商業施設内にあると不審者も入りこみやすく、子どもの安全が保てないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 11ページのこども図書館の集約化のポイントに記載しておりますとおり、こども図書館開設時の経緯や、これまで担ってきた役割を踏まえ、「子どものための専門図書館」としての機能を維持しながら、中央図書館等と集約することで、これまで以上に大人にも子どもにも親しんでいただけるような図書館を目指します。 移転後も、緑豊かな中央公園内で、親子等が居心地よく過ごせる環境を確保するために、こども文化科学館内に児童図書館の閲覧や絵本の読み聞かせが可能となる空間を整備します。 商業施設内であっても、子どもが安心して過ごせるよう、防犯にも十分配慮していきます。
	<p>機能に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向けの自習室を作ってほしい。 おしゃべりしながら読書ができるスペースや授乳スペースはありがたい。 ボランティアが利用できる研修室がほしい。 館内におはなし会ができるスペースがあると良い。 子どもの感受性を養うことをもっと考えてほしい。 子どもの読書支援サービスなど、子ども図書館として児童サービスをしっかりやってほしい。 小・中学校を巡回する司書のバックアップの充実、ボランティアへの研修、応援、相談といったことも図書館の機能の充実をさせながら続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> こどものエリアについては、23ページにお示ししていることを中心に検討しています。子どもたちに豊かな読書環境を提供するために必要不可欠なボランティアの方々や、子どもたちにとって過ごしやすい図書館となるよう、レイアウト等の工夫をします。 具体的な機能については、今後再整備を進める中で、ご意見を参考にさせていただきながら検討していきたいと考えています。

区分	意見の概要	本市の考え方
映像文化ライブラリーに関すること	<ul style="list-style-type: none"> 現在あるホールの音響等設備機能がエールエールA館で維持をされるのか。 吹き抜けのあるエールエールA館で、音漏れ等が心配だ。 時代遅れで必要ない。 中央図書館と一緒にすることは良い。 適切な機器更新が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の複合施設に入っている民間映画館等を参考に、できるだけ同様の音響設備等を維持するとともに、他の空間に干渉しないよう音漏れ対策等は十分に検討します。 貴重な資料等の保存や、映画文化を学ぶ若者等の育成など、民間映画館とは異なる映像文化ライブラリー固有の機能があり、これらは今後も継続していくとともに、図書館と一体となることで、より魅力を高めていきたいと考えています。
郷土資料館に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 駅前に郷土資料館のサテライトがあるのは良い。 広島城との連携を強めて、浅野文庫を積極的に研究・活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 18ページの基本方針2にあるとおり、広島を知るエリアを設けることで、市民はもとより、広島を訪れる多様な人々が、広島歴史・文化に触れ、平和への思いを共有できる場とするを旨とします。
事業の進め方に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 今回の検討にあたり、市民や専門家の声が十分に反映されていないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の策定に当たっては、これまで行ってきた図書館サービスのあり方についてのアンケートや利用者へのアンケートでいただいた御意見を踏まえ、検討を進めています。 また、社会教育施設の運営等に関し専門的知見を持っておられる方がメンバーとなっている図書館協議会、社会教育委員会、教育委員会においてもご意見を伺ってきました。 そのほか、図書館等の移転・再整備について見識が深く、魅力的な図書館空間づくりなどに詳しい方を招いて、官民連携のやり方や新たな図書館でのサービス展開などについて意見をいただいています。 引き続き、様々な方々からの御意見を伺いながら、基本設計などに反映させていきたいと考えています。
その他(他施設に関することなど)	<ul style="list-style-type: none"> 駅前に移転するなら青少年センターを移転すれば学校帰りなどに利用しやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館について「平和文化の情報拠点」とするを旨とし、市民はもとより来広者もアクセスしやすい広島駅周辺地区に再整備することとしたものです。青少年センターについては、現在の機能の維持を前提に、こども文化科学館と機能集約することとしています。

4 ライブラリー・サポーターズからの意見

これまでライブラリー・サポーターズ（こども図書館において、子どもたちへの絵本の読み聞かせ等を行っている中学生・高校生）から「どんな図書館があったらうれしい」かについて寄せられた主な意見

- ・ライトノベルや漫画がたくさんおいてある。
- ・参考書や問題集が置いてある。
- ・椅子を増やしてほしい。ソファやクッションがあるくつろげるスペースが欲しい。
- ・CDやDVDを視聴できると良い。
- ・子どもが来る場所には折り紙や画用紙があって遊べるようにできると良い。
- ・おすすめの本の紹介コーナーやポップなどがあると楽しい雰囲気になると思う。
- ・SNSを活用して本の情報を発信してほしい。

(参考) エールエールA館への移転と現在地での建替の比較検討表

中央図書館等について、本文に記載のとおり、現在地や中央公園内での再整備は現実的ではないが、参考として、「再整備後の機能」を目指す観点から、エールエールA館への移転と現在地での建替を以下のとおり比較検討した。

再整備後の機能	・中央図書館、こども図書館及び映像文化ライブラリー等を集約して、従来の図書館等の機能に加え、幅広い世代がより本に親しめる空間づくりや、広島県の歴史、文化、産業等の「広島らしさ」を県外、国外からの来訪者等へも発信する『『平和文化』の情報拠点』を目指す。				
区分	エールエールA館への移転		現在地での建替		
1 利便性	◎より多くの人々に利用してもらう観点において、アクセスの良さや買い物等の途中での立ち寄りやすさなどの利便性は、エールエールA館への移転が優れている。				
	①「交通の便がよい」立地であれば、中央図書館をもっと利用したい（利用してみたい）という市民ニーズが多い。（「広島市立図書館のあり方に関するアンケート」より）				
	区分	数値	区分	中央図書館、映像文化ライブラリー	こども図書館
	JR 広島駅 2 階改札から	徒歩約 3 分 (ペDESTリアンデッキ連結で、雨に濡れることなく、バリアフリー化された経路を移動可能)	広島バスセンター 1 階出口から	徒歩約 5 分	徒歩約 7 分
	広島電鉄広島駅から		広島電鉄紙屋町西電停から (原爆ドーム前電停から)	徒歩約 6 分 (徒歩約 7 分)	徒歩約 7 分 (徒歩約 3 分)
	広島駅バス停	徒歩約 3 分	アストラムライン広島県庁前駅から	徒歩約 4 分	徒歩約 6 分
	近隣駐車場台数 (エールエールA館から半径約 300m内)	約 2,600 台 (うちエールエールA館 681 台)	近隣駐車場台数 (中央図書館から半径約 300m内)	約 2,000 台	
	近隣駐輪場台数 (エールエールA館から半径約 300m内)	約 4,000 台 (うちエールエールA館 1,100 台)	近隣駐輪場台数 (中央図書館から半径約 300m内)	約 2,100 台 (うち中央図書館・映像文化ライブラリー 51 台)	
	②「通勤、通学や買い物の途中によりやすい」立地であれば、中央図書館をもっと利用したい（利用してみたい）という市民ニーズが多い。 (「広島市立図書館のあり方に関するアンケート」より)				
	・公共交通機関利用者数（広島駅地区）約 13 万人（JR7.7 万人（乗車数）、広電 2 万人、バス 3 万人） ・最寄り商業施設：エールエールA館（中央図書館等と同所）		・公共交通機関利用者数（紙屋町地区）約 11 万人（バス 5 万人、広電 2.4 万人、アストラム 3.8 万人） ・最寄り商業施設：そごう広島店（中央図書館等やこども図書館から徒歩約 5～7 分）		

区分	エールエールA館への移転	現在地での建替
2周辺の環境	<p>◎それぞれ周辺の特徴が異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR広島駅に近く、市民はもとより、観光客、ビジネス客等の広域からの多様な人流がある。 ・エールエールA館内外の商業施設及び地区内のエリアマネジメント団体と連携し、多様な官民連携が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和記念公園や広島城に近く、緑地があり静かな環境となっている。 ・社会教育施設等が集中し、他の施設との連携が行いやすい。
3まちづくり	<p>◎広島市全体のまちづくりの観点において、都心の「東西の核」のバランスをとるためには、広島駅周辺地区のエールエールA館への移転が効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま都心活性化プラン」において、市域を超えた地域全体が発展し、地方創生を実現するためには、都心の中核拠点性の更なる向上が必要であることから、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の「東西の核」と位置付け、都心機能の集積・強化を図り、相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を推進することとしている。 ・都心の「東の核」で「陸の玄関」である広島駅周辺地区は、JR広島駅新ビルの建替で商業機能の集積がさらに進む予定であるが、「西の核」と比較して社会教育施設等が少ない。 ・広島駅周辺地区に中央図書館等を移転することは、広島駅の交通結節機能に加えて、本市の『平和文化』の情報拠点」として、地区内の商業機能とは競合しない文化的機能を付与し、新たな回遊性を生み出すとともに、官民連携により都市機能の集積・強化を効率的に行うことで、「東西の核」のバランスのとれた都心づくりの推進につながることを期待できる。 ・図書館を移転した場合、その跡地は新たな公共施設用地として活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公園は都心の「西の核」である紙屋町・八丁堀地区に立地し、このエリアにはこども文化科学館や青少年センターなどの社会教育施設があるとともに、サッカースタジアムの建設、旧市民球場跡地イベント広場の整備等にも着手するなど、官民が一体となった整備が進展している。
4課題	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設と一体化した施設となるため、防火や防犯などの安全対策を十分に検討する必要がある。 ・他のテナントの営業時間と図書館等の開館時間の調整を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広島らしさ」を県外、国外など広域的に発信する点においては、中国地方最大の旅客施設であるJR広島駅を有した広島駅周辺地区よりも効果が弱い。 ・本市が目指す「楕円形の都心づくり」の東西で公共施設のバランスが偏ることになる。
5概算整備費 ※内訳は次ページのとおり	約 96 億円	約 123 億円

概算整備費比較表（内訳）

区 分		エールエールA館への移転		現在地での建替	
既存面積		中央図書館7,966㎡、こども図書館1,034㎡、映像文化ライブラリー1,293㎡＝計10,293㎡			
前提条件		中央図書館、こども図書館	12,300 ㎡	建替・移転共に同規模 （移転先の10階・9階・ 8階・その他階の合計）	
		映像文化ライブラリー	700 ㎡		
		郷土資料館（サテライト）	合計 13,000 ㎡		
		・利用するフロアの床は購入して取得予定		・新築施設の着手前に、蔵書等の保管場所及び集配拠点として仮施設を建設（中央図書館・映像文化ライブラリーのみ）	
		経 費	参 考	経 費	参 考
1 不動産取得費		約60億円	土地の取得を含む （土地の資産価値は約35億円） ※賃借の場合は約5.4億円/年 （40年賃借の場合約216億円）	無償	国からの貸与
2 建物整備費		約35億円 （改修）	・他都市改修事例を基に算出 ・上記に加え、映像ホール、 AV収蔵庫等による経費を積上	約90億円 （新築）	他都市の新築事例を基に算出
3 仮施設費 （中央図書館、映像文化ライブラリー）	借地費	-	エールエールA館への移転では仮施設は不要	無償	遊休市有地を想定
	建物整備費	-		約27億円	最低限の機能のみとし、必要延床面積を約5,500㎡と見込む
	引越費	-		約1億円	
	解体費	-		約4億円	
4 引越費		約1億円		約1億円	
計		約96億円		約123億円	
整備期間 （参考）		（移転） R4～R5年度 設計 R5～R6年度 工事 R7年度 開館		（仮施設） R4年度 設計 R5～R6年度 整備工事、引越 R7～R10年度 仮施設運営、解体	
				（建替） R4～R6年度 計画、設計 R7～R9年度 既存解体、新築工事 R10年度 開館	
耐用年数		移転後約40年		築後約60年	

※その他、情報システム費、現在施設の解体費等を別途要する。

※運営費については、今後、具体的な設計等を進める中で調整していく。